

2025年7月31日

各 位

株式会社 紀陽銀行

「統合報告書 2025」の発刊について

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）は、「統合報告書 2025」を発刊し、本日より当行ホームページ上にて公開しますので、下記のとおりお知らせいたします。

当行は、すべてのステークホルダー（地域社会・顧客・株主・従業員等）の皆さまに紀陽銀行グループの持続的な価値創造に向けた取り組みについてご理解いただくため、2021年より「統合報告書」を発刊しています。本報告書は、主に当行グループの価値創造ストーリー、経営戦略、財務・非財務情報等を中心に掲載しています。

紀陽銀行は、今後も持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、ステークホルダーの皆さまとの信頼関係の構築と双方向の建設的な対話の促進に取り組んでまいります。

記

1. 主な内容

Ⅰ. 紀陽フィナンシャルグループの価値創造	マネジメントメッセージ	・ トップメッセージ ・ 財務担当役員メッセージ
	価値創造ストーリー	・ 紀陽銀行の歩み、事業基盤 ・ 価値創造プロセス ・ サステナビリティ経営、マテリアリティ（重要課題）
Ⅱ. 企業価値向上に向けた取り組み	経営戦略	・ 第7次中期経営計画 ・ 中小企業分野における取り組み ・ 戦略系グループ会社の取り組み ・ サステナビリティ戦略 ・ 〈特集〉スタートアップ支援拠点「Key Site」座談会 ・ 株主・投資家とのコミュニケーション ・ 株主還元の充実
	人的資本経営	・ 人的資本経営の高度化 ・ 〈特集〉未来創造室座談会
	ステークホルダーとの価値共創	・ 創立130周年記念事業 ・ 法人・個人のお客さま、地域社会への取り組み
	環境への取り組み	・ 環境への取り組み
Ⅲ. 価値創造を支える経営基盤	コーポレート・ガバナンス	・ コーポレート・ガバナンス ・ 〈特集〉社外取締役 ダイバーシティ座談会
	財務・企業情報	・ 主要財務データ・企業情報

2. 掲載URL

<https://www.kiyobank.co.jp/investors/ir/disclosure/disc04.html>

なお、昨年発刊した「統合報告書 2024」は、GPIFが公表する「GPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れた統合報告書」と「改善度の高い統合報告書」」において、「改善度の高い統合報告書」に選出されました。

以 上